

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡空港貨物施設移転整備事業 国内貨物上屋	階数	地上2F
建設地	福岡県福岡市博多区大字上臼井字解井632番地 他(福岡空港内)	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2016年12月19日
敷地面積	15640(仮想) m ²	作成者	清水建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	8,623 m ²	確認日	-
延床面積	9,897 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	77%
④上記+	77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		その他
総合 適切な外皮性能を確保すると共に、LED照明等による設備システムの効率化を計画することやトップライト、ハイサイドライトの自然採光・利用により、エネルギー消費を低減させ、ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物に対して77%とし、地球温暖化への配慮をしている。		
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆の材料を使用することや適切な換気計画とすることで、室内空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材料や防汚性材等を採用し、建物の維持管理に配慮している。また、階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境(敷地内) 卓越風向側の建物見付面積を小さくし、風の通り道確保した配置計画とすることで、敷地内空間等の暑熱環境に配慮している。
LR1 エネルギー 適切な外皮性能を確保すると共に、LED照明等による設備システムの効率化を計画することにより、エネルギー消費を低減させることに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 発泡断熱材は、ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を削減している。	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」チェックリストを基に、光害抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される